

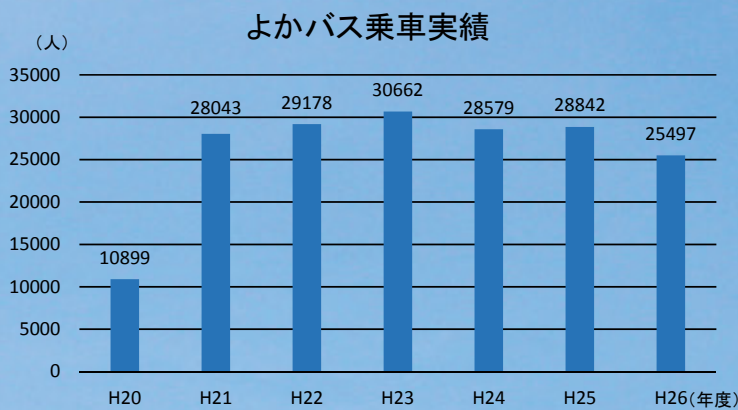
バス利用のよかとこ

●環境にやさしい

1人を1km運ぶために排出するCO₂（二酸化炭素）は、バスの場合、自動車の約1/3で済むと言われています。自動車の利用を減らし、バスを利用することで、身近なところから地球環境保護に貢献することが可能です。

●健康の維持につながる

公共交通を利用することにより、



地域住民の足として欠かせないコミュニティバス「よかバス」。通院や買い物などに気軽に利用できるよかバスは、自分で移動手段を持たない住民にとって、大切な交通手段です。

よかバスの利用者のほとんどは60歳以上の高齢者。年を重ねても元気に街へ繰り出せる高齢者にやさしい社会の実現に向けて、よかバスは今日も地域住民の足として、たくさん笑顔を運んでいます。

現在、バスを利用していない皆さんもよかバスの「これから」を一緒に考えてみませんか。

よかバスに乗ったことはありますか？

よかバスは平成20年10月1日の運行開始から約7年が経過し、平成27年7月末までの累計乗車人員は190,673人と、まもなく20万人を達成する見込みです。

今はマイカーを利用し、バスを必要としない人でも、将来必要となったときにバスがないと困ることになります。より多くの人がバスを利用することで、バスの運行が維持されます。

また、バスは環境や体にも優しい乗り物です。マイカーに依存しすぎないように、目的によって、マイカ

よかとこいっぱい 「よかバス」再発見！

kushima community bus

地域のために市内を走るオレンジ色のよかバス。
皆さんは乗ったことはありますか？
バスを利用している人もそうでない人も、
一緒に「よかバス」のよかところを再発見してみませんか。

1と上手に使い分けることも大切です。市民一人ひとりが年に数回バスに乗るようになると、利用者数はかなり増加します。

「今日はよかバスを使おうかな」と軽い気持ちで、バスの利用を始めてみませんか。

歩く機会が増えるなど、消費カロリーも増加し、健康維持に貢献します。

●維持費がかからない

マイカーは車両代を除いても、保険、税金、車検費用などの維持費が必要で、それに加えガソリン代、高速代、修理代など多くの費用がかかりますが、バスの場合、維持費はからず料金は一律です。

より利用しやすく

毎年、乗り込みアンケートを実施し、利用者の声を聞いています。すべての要望に応えることは難しいですが、ダイヤ改正などを経て、より利用しやすい路線を目指しています。

よかバスに乗っていて気づいたことなど、お気軽にお話ください。

乗り方教室

よかバスをさらに身近に感じていただくために、乗り方教室を実施します。「よかバスに乗ってみたいけど乗り方がわからない」「乗ったことがないから不安」そんな皆さまの地区でバスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法など、よかバスの基本的な知識を学び、その後、目的地まで体験乗車することができます。

